

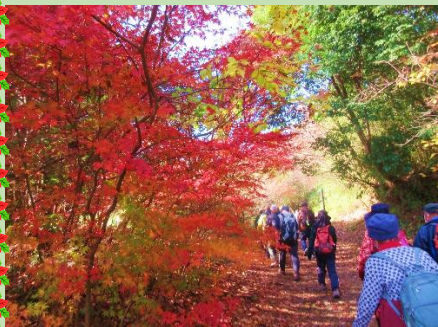
# 初冬の三保市民の森

初冬の里山の景観を眺め、雑木林の中で葉擦れの音に耳を澄ませば・・・ (マスク着用) **12キロ**

【集 合】午前9時30分 青葉台公園(トイレなし)(要昼食)  
(東急田園都市線、青葉台駅5分)

【コ ー ス】～新治里山交流センター～新治市民の森～三保市民の森  
～三保平(昼食)～日向山公園～十日市場駅

【解 散】午後2時30分頃 十日市場駅(JR 横浜線)



「三保市民の森」は緑区・旭区にまたがる約40ヘクタールの広大な森で、近隣の新治市民の森、四季の森公園、ズーラシア隣の植物園予定地などと共に「北の森」と称されている。コース説明の臼井さんによれば、横浜という都市に残っていることが奇跡に感じられるような素晴らしい森だそうである。最初に訪れた新治交流センターでは先客に50名程の小学生が社会見学をしていた。そこに80人のお年寄りがやって来て密状態。先生は大慌てで我々に早く行くことを促す。小学生は大喜びで歓迎してくれた。森には「谷道」、「プロムナード」、「尾根道」の3つのルートがあるが、「谷道」(ここは根っこが露出していて滑りやすい)を通り三保平に向かう。ここで食事。テーブルは数多くあり助かる。ただトイレが男女一名分しかないのが玉にキズである。雑木林は絵になる写真が少ないのが私を困らせる。大きな川も眺望のいい展望台もないが、森の中は外とは空気も湿度も音もベールに包まれた別世界のような。参加者、81名+6名。横歩連としては久々に歩数が2万歩を越えた。これで横歩連は今年最後の例会になるが、お隣韓国ではコロナ感染者数が激増している。来年も元気一杯にウォーキング出来ることを祈りたい。

横歩連 春